

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	生涯学習推進事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			10	04	01	03	政策経費	
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	共催
	[1] 生涯学習						担当課係等	生涯学習課
事業期間	1 生涯学習推進体制の確立							社会教育係
	継続（年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 市民のライフステージに応じた学習機会を提供し、生涯学習の普及を推進していくと共に、市民のまちづくりへの関心と市政への参加意識を高める。	【関連事業】 生涯学習市民協働・生涯学習情報提供・青少年育成・女性団体行政・学校家庭地域の連携協力推進事業
【期待される効果】 市民の生涯学習に対する意識向上、事業への積極的な参加・参加が増進される。	【対象者】 市民
【全体概要】 市民がより充実した人生が送れるよう、学びたい、楽しみたいなど、市民の多種多様なニーズや市の政策に応じた様々な催し、講座、教室などを開催。市民の生涯学習の意欲を高めると共に、まちづくりへの参加意識を高める一助とする。	【特記事項】 【継続】高齢者大学、補助金交付【新規】子ども大学、大人大学【終了】市民トレッキング→同行会へ移行 美郷町小学生交流→終了（沖縄子ども探検隊を開始）市民ふれあい農園→総合型スポーツクラブ農園に移行 【別事業に移行】マナビィ→拡充して生涯学習情報提供事業へ 生涯学習フェスティバル→拡充して生涯学習市民協働事業へ ◎活動・成果指標 見直し
【平成25年度 事業内容】 高齢者大学、市民ふれあい農園、市民トレッキング、美郷町小学生交流、生涯学習フェスティバル開催、マナビィ発行、市PTA連絡協議会、ちよだ太鼓	【平成26年度 事業内容】 高齢者大学、市民ふれあい農園、市民トレッキング、美郷町小学生交流、生涯学習フェスティバル開催、マナビィ発行、市PTA連絡協議会、ちよだ太鼓
	【平成27年度 事業内容】 高齢者大学、子ども大学（子供たちに大学教授等、高レベルな授業機会を提供）、大人大学（青年向けや地域の課題に関する講座等を開講し、地域の担い手づくりを目指す）、市PTA連絡協議会、ちよだ太鼓

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,707	2,604	991
歳入計（千円）		1,707	2,604	991
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	83	100	217
	09 旅費	173	171	122
	11 需用費	667	487	130
	12 役務費	164	150	160
	14 使用料及び賃借料	503	613	20
	19 負担金、補助及び交付金	117	1,083	342
内訳				
歳出計（千円）（A）		1,707	2,604	991
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -61.9 予 -80.5
職員人工数		1.40	0.95	0.95
職員人件費（B）		11,284	7,328	7,553
総事業費（A）＋（B）		12,991	9,932	8,544

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	生涯学習推進人材バンク登録者数	人	目標	50.00	50.00	0.00
	4月1日時点の生涯学習推進人材バンク登録者数 ⇒27年度から新しい指標		実績	47.00	52.00	0.00
	高齢者大学開催回数	回	目標	8.00	8.00	0.00
	高齢者大学の開催回数 ⇒27年度から新しい指標		実績	8.00	8.00	0.00
成果 指標	生涯学習推進人材バンク利用件数	人	目標	15.00	15.00	0.00
	1年間の生涯学習推進人材バンク利用件数 ⇒27年度から新しい指標		実績	12.00	17.00	0.00
	高齢者大学参加者数	人	目標	100.00	100.00	0.00
	高齢者大学への参加人数 ⇒27年度から新しい指標		実績	100.00	92.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりなど、目的に応じた多様な学習ニーズにこたえるため、市で生涯学習を推進する必要がある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 常に成果を高める工夫が考えられるため見直す余地がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 ②の理由により影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他の部署や団体等、連携ができるものは連携するよう心掛けている。今後も同様に進めていきたい。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 団体事務の自主運営や事業の再検証・再構築にも努めており、現段階では、事業費、人件費ともに必要最小限の対応であると考えている。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 恒例的、継続的に実施している事業が多く、その受講者、参加者が固定化している傾向が見受けられたため、既存事業の再検証をし、27年度は目的、対象者を明確にした事業を再構築した。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	生涯学習は、今後も市民が健康で充実した生きがいつくりの学習機会の提供をするとともに、一人一人のテーマやライフスタイルに対応した、きめ細かな「自ら学ぶ生涯学習」ができる体制づくりに取り組む。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 継続的慣例的で、参加者も固定化していた従来の事業を見直し、テーマ、目的、対象者を明確にしたいくつかの新規事業を企画した。これらの事業が円滑に進むよう、課内の全部署、関係機関、関係団体等と連携しながら計画的、体系的に事業を推進していくこと。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 合併以来の懸案となっている生涯学習推進計画の策定について、検討をお願いします。		

計画対象年度	平成26年度							事務事業評価シート				
事務事業名	青少年育成事業（政策）							事業類型	その他			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	青少年相談員設置規則			
			10	04	01	05	政策経費					
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり							総合計画対象	対象			
	第3節 青少年の健全育成							市民協働	共催			
	[1] 青少年育成							担当課係等	生涯学習課			
1 青少年健全育成活動の促進							社会教育係					
事業期間	継続（ 年度～ ）											

現状把握の部（D0）

【目的】	学校、家庭、地域が一体となって、青少年の豊かな感性、社会性、創造性を培う事業を展開し、次世代を担う青少年を健全に育成する。	【関連事業】	生涯学習推進事業 生涯学習市民協働事業 女性団体行政事業 学校家庭地域の連携協力推進事業
【期待される効果】	各種青少年教育事業を実施することにより、自然体験や集団での宿泊など貴重な体験をとおして、自主性、創造性、協調性などを育む機会となっている。また、各地域の特性を活かした事業展開は、ふるさとを愛しふるさとを担う人づくりに寄与しているものとする。	【対象者】	青少年、成人
【全体概要】	次世代を担う青少年の豊かな感性や社会性、創造性を培い青少年の健全育成を図るため、青少年育成団体の活動支援や自然、歴史、文化、地域活動、ボランティア活動など、様々な体験学習を企画実施する。	【特記事項】	【08報償費】・成人式謝礼及び記念品【09旅費】・職員旅費及び委員等費用弁償【11需用費】・消耗品費（成人式及びつり大会）・食糧費（成人式お茶代等）【12役務費】・通信運搬費【13委託料】・家庭の教育力充実事業・沖繩子ども探検隊事業【19負担金、補助及び交付金】・各協議会等負担金・補助金（子ども会育成連合会、ボーイスカウト、ガールスカウト事業活動費）
【平成25年度 事業内容】	青少年育成かすみがうら市民会議、青少年相談員、成人式及び成人式実行委員会、家庭の教育力充実事業（子育てひろば、家庭教育学級）子ども会育成連合会、ボーイ・ガールスカウト助成、	【平成26年度 事業内容】	青少年育成かすみがうら市民会議支援、青少年相談員活動、成人式及び成人式実行委員会活動の支援、家庭の教育力充実事業、子ども会育成連合会への助成・活動支援、ボーイ・ガールスカウト助成
【平成27年度 事業内容】	青少年育成かすみがうら市民会議支援、青少年相談員活動、成人式及び成人式実行委員会活動の支援、家庭の教育力充実事業、子ども会育成連合会への助成・活動支援、高校生会の復活及び活動支援、ボーイ・ガールスカウト助成、沖繩子ども探検隊事業		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	2,925	2,689	6,058					
	歳入計（千円）	2,925	2,689	6,058					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	401	423	444					
	09 旅費	218	11	620					
	11 需用費	32	36	86					
	12 役務費	85	53	114					
	13 委託料	1,345	1,322	3,950					
	19 負担金、補助及び交付金	844	844	844					
歳出計（千円）（A）	2,925	2,689	6,058						
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	4,380	伸び率(%)	決	125.2	予	38.31
職員人工数	1.15	1.15	1.15						
職員人件費（B）	9,269	8,870	9,143						
総事業費（A）＋（B）	12,194	11,559	15,201						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	青少年相談員巡回活動回数	回	目標	22.00	22.00	22.00
	青少年相談員による巡回指導回数		実績	47.00	49.00	0.00
	子育てひろばネットワークー会議開催回数	回	目標	8.00	8.00	8.00
	事業開催にかかる企画会議		実績	8.00	9.00	0.00
成果 指標	青少年相談員巡回活動参加者延べ人数	人	目標	170.00	170.00	170.00
	巡回指導活動を行った相談員の数（市内巡回等）		実績	195.00	201.00	0.00
	子育てひろば年間参加者延べ人数	人	目標	850.00	850.00	850.00
	事業の参加者数		実績	739.00	1,140.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画の適正な管理を図るため行政評価を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 青少年の健全育成に係るこれらの事業は、将来のかすみがうら市を担う若者を育てるうえで極めて重要な施策の一つである。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 「地域の子どもは地域で育てる」という意識啓発活動に更に取り組み、市民総ぐるみでの青少年健全育成の充実を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 青少年健全育成のために、家庭、教育、地域が連携して行う事業が少なくなり、青少年が地域社会活動に参加する場をなくしてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他の部署や団体等、連携ができるものは連携するよう心掛けている。今後も同様に進めていきたい。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 団体事務の自主運営や事業の再検証・再構築にも努めており、現段階では、事業費、人件費ともに必要最小限の対応であると考えている。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 様々なタイプの青少年が興味と関心を持ってくれるバラエティに富んだ事業内容になるよう努める。また、高校生会や成人式実行委員会など、生涯学習に関心が薄く、接点の少ない世代にも呼びかけていく。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	団体との連携を深め、新しい活動の模索や人材の発掘・確保に協力していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 関係団体との連携を深め、事業を推進していくこと。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 多様な事業展開を目指すためにも、関係団体との連携を深めることが重要と考えます。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	女性団体行政事業（政策）						事業類型	負担金
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			10	04	01	07	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第5章 みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象
	第2節 男女共同参画の推進						市民協働	共催
	[1] 男女共同参画社会						担当課係等	生涯学習課
2 社会参画への支援						社会教育係		
事業期間	継続（年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 女性の自発的な活動を通して自己の資質の向上と女性団体の相互の連携を図り、地域社会の発展に寄与する。	【関連事業】 生涯学習推進事業 生涯学習市民協働事業 生涯学習情報提供事業 学校家庭地域の連携協力推進事業
【期待される効果】 男女共同参画の観点から必要な事業ではあり、地域に密着した自主事業の拡大や新規加入者の増加	【対象者】 地域女性団体連絡会、女性団体代表者連絡協議会
【全体概要】 女性の自発的な活動を通して自己の資質の向上と女性団体相互の連携を図り、地域女性の発展に寄与する。こうした目標を達成するため、地域女性団体連合会や女性団体代表者連絡協議会等の女性組織の活動を支援する。	【特記事項】 地域女性団体連絡会600,000円 女性団体代表者連絡協議会100,000円 ◎指標の見直しにより変更
【平成25年度 事業内容】 地域女性団体連絡会及び女性団体代表者連絡協議会の補助金交付と支援	【平成26年度 事業内容】 地域女性団体連絡会及び女性団体代表者連絡協議会の補助金交付と支援
【平成27年度 事業内容】 地域女性団体連絡会及び女性団体代表者連絡協議会の補助金交付と支援	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	700	700	700
歳入計（千円）		700	700	700
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	700	700	700
歳出計（千円）（A）		700	700	700
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.80	0.80	0.80
職員人件費（B）		6,448	6,171	6,360
総事業費（A）＋（B）		7,148	6,871	7,060

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	地域女性団体連絡会地区女性会数	団体	目標	8.00	8.00	0.00
	地域女性団体連絡会構成地区女性団体数		実績	8.00	8.00	0.00
	女性団体代表者連絡協議会単位女性団体数	団体	目標	24.00	24.00	0.00
	女性団体代表者連絡協議会構成単位女性団体数		実績	23.00	22.00	0.00
成果 指標	地域女性団体連絡会年間事業参加者数	人	目標	800.00	800.00	0.00
	地域女性団体連絡会が主催・参加した事業における参加者数		実績	1,277.00	1,142.00	0.00
	女性団体代表者連絡協議会年間事業参加者数	人	目標	600.00	600.00	0.00
	女性団体代表者連絡協議会が主催・参加した事業における参加者数		実績	731.00	712.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 男女共同参画の観点から、女性がもてる能力を十分に発揮し、地域づくりの担い手として活躍できる場の整備に努める。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 現在も実施しているが、地域づくりの担い手という意識を持ってもらうプログラムを増やしていく。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 かすみがうらマラソンなど、ボランティアスタッフとして市の催しに協力しており、影響は大きい。また、市全体を見た場合、男女共同参画関係の団体があまり見受けられない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 女性団体を支援する類似事業はない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 必要最小限の経費である。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内のほぼ全地域（地女連）の多くの女性団体（代表者）が参加しているため、公平・公正であると考えているが、年齢層が高いため、もう少し若い世代も参加できるよう支援していく必要がある。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	地女連や代表者連絡協議会の活動も重要だが、それぞれの下部組織の活動も成果を上げており今後も継続して活動を後押ししたい
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 単なるボランティア組織ではなく、市民協働、地域づくりの担い手として活躍してもらえるよう支援していく。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 両団体の支援について、今後も継続をお願いします。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	学校家庭地域の連携協力推進事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			10	04	01	09		
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 青少年の健全育成						市民協働	共催
	[1] 青少年育成						担当課係等	生涯学習課
1 青少年健全育成活動の促進								社会教育係
事業期間	継続（年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 学校、家庭、地域の連携の下、放課後や土曜日に小中学校等の余裕教室等を利用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の住民達が、地域の子どもたちに、学習の支援やスポーツ・文化等の各種体験の指導等を通して、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	【関連事業】 生涯学習推進事業 生涯学習市民協働事業 生涯学習情報提供事業 女性団体行政事業	
【期待される効果】 少子高齢化の時代の中、参加する地域の子供たちにも、講師やスタッフとして関わる地域の住民にも、「地域の子どもは地域で育てる」という意識が芽生える。	【対象者】 新治小学校全校生、下稲吉東小学校全校生、下稲吉中学校全校生	
【全体概要】 放課後の子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進するとともに、地域の教育力の向上を図るため、さまざまな放課後教室を実施する。実施に当たっては、教育活動サポーターを置き、子どもたちの活動・送迎の安全確保に努める。新治小学校は生涯学習課が対応、下稲吉東小・下稲吉中学校は下稲吉中学校区三校連支援ボランティアに委託。	【特記事項】 【08報償費】・謝礼（学校家庭地域の連携協力運営委員、教育活動推進員、教育活動サポーター等） 【11需用費】・消耗品費（事業消耗品費）・燃料費 【12役務費】・保険料（子ども教室保険料等） 【13委託料】・委託料（放課後子ども教室推進業務、土曜日の教育支援体制等構築業務）※事業追加に伴い指標変更	
【平成25年度 事業内容】 新治小学校（放課後子ども教室年10回開催）	【平成26年度 事業内容】 新治小学校（放課後子ども教室年10回開催）	【平成27年度 事業内容】 新治小学校（放課後子ども教室年10回開催）、下稲吉東小学校（放課後子ども教室年10回開催（委託））、下稲吉中学校（放課後子ども教室年65回開催（委託））、下稲吉地区（土曜日の教育支援体制等構築事業年45回開催（委託））

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	413					
	自主財源	242	226	351					
	歳入計（千円）	242	226	764					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	166	140	221					
	11 需用費	68	77	92					
	12 役務費	0	0	19					
	13 委託料	8	9	432					
歳出計（千円）（A）	242	226	764						
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	291	伸び率(%)	決	238.0	予	162.5
職員人工数	0.80	0.55	0.55						
職員人件費（B）	6,448	4,243	4,373						
総事業費（A）＋（B）	6,690	4,469	5,137						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	安全管理人研修	回	目標	2.00	2.00	0.00
	子ども達を預かる安全管理人の資質向上を図るため研修会の開催参加。		実績	2.00	2.00	0.00
	年間教室開催数	回	目標	10.00	10.00	0.00
	放課後子ども教室の年間開催数		実績	10.00	10.00	0.00
成果 指標	参加者人数	人	目標	160.00	160.00	0.00
	放課後子ども教室の年間の参加者数		実績	151.00	196.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 本事業は、学校施設を利用して、学校、家庭、地域が連携し、国・県の補助金を利用して実施していることから、行政が関与するのは妥当であると考え。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生涯学習課が直営で実施している新治小は実績が上がっており、他校での事業展開が必要と考えるが、直営方式では、人員的、物理的に困難であるため、下稲吉地区のように、地区のボランティアの方に委託して事業を行う方式を進めていきたい。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 新たな事業展開を計画しているので、廃止となると社会環境の変化やそれぞれの家庭環境に応じ方が難しくなって地域社会及び家庭における教育の低下に通じる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似で、放課後児童クラブ事業があるが、放課後子ども教室とは、事業の趣旨及び体系において差異があるため統廃合はできないが、「放課後子ども総合プラン」の方針に基づき、一部、一体型方式（児童クラブ⇒子ども教室⇒児童クラブ）で実施している。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 生涯学習課直営方式で事業展開しているものを、地域住民から、ボランティアやコーディネータといった人材を発掘し、委託事業という形がとれば人件費が削減できる。ただし、もっと多くの学校で実施ということになれば事業費は増えることが予想される。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 一部の学校(市内三校)でしか事業実施していないので、他の学校でも事業展開していく必要がある。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	「地域の子どもは地域で育てる」という考え方にに基づき、同事業が普及するように事業展開していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 27年度から、「地域の子どもは地域で育てる」という趣旨に基づき、地域の市民ボランティア（下稲吉中地区三校連支援ボランティア）に委託する形で事業を実施するが、ほかの地域でも、同様の形での地域住民の方の自主運営による事業展開の可能性を探っていくこと。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 今年度から始めた土曜日教育事業の取り組みについては、その進捗について特に注意をしてください。時代の要請もあり、注目される事業であると思います。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度								
事務事業名	かすみがうらマラソン大会開催事業（政策）						事業類型	負担金	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市事業費助成型補助金等交付要綱
			10	05	01	03	政策経費		
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	共催	
	[1] 生涯学習						担当課係等	生涯学習課	
事業期間	6 スポーツ・レクリエーション活動の推進							スポーツ振興係	
継続	(年度～)								

現状把握の部 (D0)

【目的】 マラソン大会を通して、地域住民と参加者との交流・親睦、参加者の健康増進、生涯スポーツの普及振興を図るとともに、大会名にもなっている「霞ヶ浦」の水質浄化を中心とした環境問題の意識の啓発及び福祉の充実を図る。	【関連事業】 市民ふれあいスポーツ推進事業 スポーツ団体育成事業	
【期待される効果】 マラソン大会を通して、地域住民と参加者との交流・親睦、参加者の健康増進、生涯スポーツの普及振興を図るとともに、大会名にもなっている「霞ヶ浦」の水質浄化を中心とした環境問題の意識の啓発及び福祉の充実を図る。	【対象者】 大会関係者 市民 マラソン参加者	
【全体概要】 補助金を交付し土浦市との共催事業として大会を運営する。本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会であるとともに、国際視覚障害者スポーツ協会公認大会ともなっており、正式名称は「かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会」となっている。	【特記事項】 活動指標について27年度からは各ボランティア団体協力団体との打ち合わせ数に変更。 成果指標については27年度からボランティア団体協力団体数を追加。	
【平成25年度 事業内容】 実行委員会に対し補助金として交付する。また、実行委員会事務局として土浦市と共同で大会開催に向けて推進する。	【平成26年度 事業内容】 実行委員会に対し補助金として交付する。また、実行委員会事務局として土浦市と共同で大会開催に向けて推進する。	【平成27年度 事業内容】 実行委員会に対し補助金として交付する。また、実行委員会事務局として土浦市と共同で大会開催に向けて推進する。

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	3,000	3,000	3,000
歳入計（千円）		3,000	3,000	3,000
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	3,000	3,000	3,000
歳出計（千円）（A）		3,000	3,000	3,000
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.00	0.00	0.47
職員人件費（B）		0	0	3,737
総事業費（A）＋（B）		3,000	3,000	6,737

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	エントリー者数	人	目標	25,000.00	27,000.00	0.00
			実績	27,109.00	26,860.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加者数	人	目標	21,000.00	21,000.00	21,000.00
			実績	22,162.00	18,102.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 かすみがうらマラソンには、選手、スタッフ、ボランティアとして多くの市民が関わり、市民と行政が一体となって行う事業である。その観点から、行政の一定の税金投入は妥当性がある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 より市民協働の事業として意識改革を進めることにより成果は向上できる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 全国的に知名度のある大会なので、当市の関与が必要不可欠である。開催ができなければ、多くの市民に影響を与える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 参加ランナーも年々増加し、大会規模も非常に大きなものになっている。市が率先して、全国トップクラスのマラソン大会を開催することには、市の認知度やイメージアップ効果としても必要不可欠である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 実行委員会をより民間化することができれば削減余地はある。ただ、地域のパイプ役としての行政の積極的関わりもこの大会を長年支えている要素になるので、簡単に移行できるものではない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 直接大会事業関わらなくとも、この大会の知名度は市民全体の利益に値すると考える。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	土浦市との足並みをそろえたうえでという前提になるが、実行委員会の事務的活動をより民間に預けることができれば、事業の改善につながる。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 長い年月をかけて、市民の心に「春の風物詩 おらがまちのマラソン」というイメージが定着したように感じる。関係部署や関係団体との連携を深め、市民の方に、同事業をもっと身近に感じてもらえるよう努めてほしい。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) エントリー人口も年々増えている事業であり、今後も継続して大会への助成をお願いします。		

計画対象年度	平成26年度							事務事業評価シート				
事務事業名	市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）							事業類型	イベント・行事・各種講座教室等			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	スポーツ基本法			
			10	05	01	05	政策経費					
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり							総合計画対象	対象			
	第2節 生涯学習の充実							市民協働	市民の関与			
	[1] 生涯学習							担当課係等	生涯学習課			
事業期間	6 スポーツ・レクリエーション活動の推進								スポーツ振興係			
	継続（年度～）											

現状把握の部（D0）

【目的】	子供から高齢者までスポーツレクリエーション活動の場を提供し、市民の体力・健康づくりを推進する。	【関連事業】	かすみがうらマラソン大会 開催事業 スポーツ団体育成事業
【期待される効果】	子供から高齢者までスポーツレクリエーション活動の場を提供し、市民の体力・健康づくりを推進する。	【対象者】	市民
【全体概要】	市民ふれあいスポーツフェア、市民マラソン大会、各種スポーツ教室など、スポーツイベントの開催や総合型スポーツクラブなどの連携により、市民にスポーツレクリエーション活動の機会を提供し、市民の体力づくり、健康増進を推進する。	【特記事項】	27年度に活動指標及び成果指標を見直し。活動指標は開催回数ではなく企画数とし、成果目標はそれらの企画の参加した述べ参加数とする。 多くの市民が国体に参加できるよう、国体デモンストレーション種目の教室などを開催し、愛好家を増やすよう努める。
【平成25年度 事業内容】	スイミング教室等、スポーツ教室の開催。市民ふれあいスポーツフェア、市民マラソン大会の開催。総合型スポーツクラブ（スポレク祭）や海洋クラブ（カヌー教室）への事業委託。B & G関連の庶務。	【平成26年度 事業内容】	スイミング教室、水辺の安全教室等、スポーツ教室の開催。市民ふれあいスポーツフェア、市民マラソン大会の開催。総合型スポーツクラブ（スポレク祭）や海洋クラブ（カヌー教室）への事業委託。B & G関連の庶務。
【平成27年度 事業内容】	国体関連事業（グランドゴルフ・ペタンク教室）、各種スポーツ教室（スイミング、マラソン、水辺の安全）、ふれあいスポーツフェア・市民マラソン大会開催総合型スポーツクラブ（スポレク祭）や海洋クラブ（カヌー教室）への事業委託B & G関連庶務。		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	2,395	2,214	2,197
歳入計（千円）		2,395	2,214	2,197
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	794	774	893
	09 旅費	51	86	95
	11 需用費	763	701	479
	12 役務費	287	153	230
	13 委託料	500	500	500
歳出計（千円）（A）		2,395	2,214	2,197
（参考）		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.00	0.00	伸び率(%) 決 -0.76 予 -48.7
職員人件費（B）		0	0	2,226
総事業費（A）＋（B）		2,395	2,214	4,423

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	市民ふれあいスポーツフェア・教室等大会開催延べ回数	回	目標	11.00	11.00	11.00
	市主催の大会やスポーツフェア、市民マラソンの開催回数		実績	15.00	15.00	15.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	市民ふれあいスポーツフェア参加者数 参加人数	人	目標	1,500.00	1,500.00	0.00
			実績	1,483.00	1,600.00	0.00
	市民マラソン大会参加者数 参加人数	人	目標	1,000.00	800.00	0.00
			実績	718.00	800.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の健康寿命延伸のためのスポーツをする機会の提供として、市民が広く参加できる事業は妥当であると考ええる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 時代に応じた多種多様なスポーツイベントや講座の追究は常に続けなければならない
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 スポーツをする機会の低下は市民の健康維持へも悪影響を及ぼし、しいては、医療費、介護費等の増にもつながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 生涯学習課内はもちろん、福祉、保健、観光等においても同様の講座等を実施する機会があるため、役所内の連携を密にし、事業の重複化を軽減できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 時代性や市民ニーズに答えるために常に市民への運動機会の提供は必要である。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 広く市民に対して参加を求めるものなので、市民全体を対象と考えている

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	総合型スポーツクラブなどの市民団体との協働により、より多様な事業を計画できる
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 市民協働型の事業が展開できるよう総合型スポーツクラブとの連携を深めること。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) スポーツ推進委員や総合型スポーツクラブと一体となって事業を進めていくことが重要と思われます。更なる連携をお願いします。		

計画対象年度	平成26年度		事務事業評価シート					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
事務事業名	スポーツ団体育成事業（政策）							根拠法令	スポーツ基本法		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分				
			10	05	01	07	政策経費				
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり							総合計画対象	対象		
	第2節 生涯学習の充実							市民協働	共催		
	[1] 生涯学習							担当課係等	生涯学習課		
事業期間	8 スポーツ・レクリエーション団体の育成								スポーツ振興係		
	継続（年度～）										

現状把握の部（D0）

【目的】	生涯スポーツの振興には、生涯スポーツ関係団体の役割が大きく、スポーツ振興のため市民に対し実技指導やその他スポーツに関する指導助言を行い、各団体会員の育成、健康増進、競技力の向上を図り、団体の健全育成を目指す。	【関連事業】	市民ふれあいスポーツ推進事業
【期待される効果】	生涯スポーツの振興には、生涯スポーツ関係団体の役割が大きく、スポーツ振興のため市民に対し実技指導やその他スポーツに関する指導助言を行い、各団体会員の育成、健康増進、競技力の向上を図り、団体の健全育成を目指す。	【対象者】	体育協会 スポーツ少年団 スポーツ推進員
【全体概要】	体育協会加盟団体は市長杯大会及び各種大会の開催、各事業への協力及びスポーツ少年団の健全育成の支援、またスポーツ推進委員の育成を図り、新たな競技種目の発展と市民スポーツ活動の機会を高める。	【特記事項】	
【平成25年度 事業内容】	スポーツ少年団市長杯大会の委託及び大会執行にかかる庶務。体育協会への補助金交付及び事務局業務	【平成26年度 事業内容】	スポーツ少年団市長杯大会の委託及び大会執行にかかる庶務。体育協会への補助金交付及び事務局業務
【平成27年度 事業内容】	スポーツ少年団市長杯大会の委託及び大会執行にかかる庶務。体育協会への補助金交付及び事務局業務		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,210	4,117	4,372
歳入計（千円）		4,210	4,117	4,372
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	500	500	500
	19 負担金、補助及び交付金	3,710	3,617	3,872
歳出計（千円）（A）		4,210	4,117	4,372
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 6.19 予 -15.3
職員人工数		0.00	0.00	0.31
職員人件費（B）		0	0	2,465
総事業費（A）＋（B）		4,210	4,117	6,837

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	少年団及び体育協会による市長杯大会開催数	回	目標	14.00	14.00	14.00
			実績	14.00	14.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	少年団及び体育協会市長杯大会参加チーム数 参加チーム数、個人戦種目はここでは除く	団体	目標	200.00	200.00	200.00
			実績	183.00	181.00	0.00
	個人戦種目の市長杯大会の参加者数 ゴルフ、弓道	人	目標	0.00	0.00	250.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民のスポーツ活動を積極的に支援する観点から妥当と考える
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 より多くの団体のスポーツ活動を支援する
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民のスポーツ活動を円滑に推進するために事業を必要と考える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 市民が積極的に活動をするために、また、特にスポーツを通じた青少年育成の観点からも妥当と考える。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 各団体の活動内容を精査し直接かかる費用を見直せば、コスト軽減はありうるが、今後施設使用料をどの団体からも徴取する場合を考慮すると、団体運営上費用的に支障が生じることが想定されるので現時点からの削減の余地はない
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 特定の団体加入者に対しての事業という意味では受益者は偏りがある。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	市民に対して広くスポーツ団体への加入または参加を促進し、継続的に支援する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 補助金については、交付する方も受ける方もその趣旨等を理解のうえ、適正に運用するよう心掛ける。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 委託料、補助金とも、今後も継続しながら事業を進めていきたい。		